



公の施設の再配置計画の方向性は
 こんどう 彰治（市民クラブ）



問／金谷区は、市内28区で唯一、地区内に公民館がない。金谷地区公民館の方向性を聞きたい。

答／令和2年度末までに方向性を示す。機能・規模、設置場所や必要な財源の検討を進める。

問／ヨーデル金谷が再配置候補施設に掲げられ、貸付又は譲渡とされ、譲渡先がなければ廃止するとしており、令和3年度には完了の計画としている。方向性について詳細に聞きたい。

答／令和元年度に実施したサウンディング型市場調査で複数の民間事業者からレストランとして承継したいと提案があった。まずは民間事業者による施設機能の存続を図ることとした。

外国人労働者の受入れ状況は

問／市内の外国人労働者の受入れ状況はどうか。

答／上越管内で173事業者に1210人の外国人が就労し、年々増加傾向にある。製造業において200人を超える規模の事業者もいる。

えちご・くびき野100kmマラソン開催は

問／新型コロナウイルスの影響で中止となり、4年間の空白が生じた。ランナーは次期大会の早期開催を望んでいる。市の考えを聞きたい。

答／全国の感染状況や医療面の対策状況、大会開催に関する市民の意識などを勘案しながら、10月中に次回大会の開催時期を判断したい。




一生に一度の「成人式」開催を求めて問う！
 石田 裕一（みらい）



問／令和2年度の成人式を新型コロナウイルス感染症予防に努めた上で開催できなかったのか。

答／成人の集い実行委員や美容業、貸衣裳業等事業者の意見も聴いたが、新成人や家族の健康と命を守ることを最優先として中止した。



成人式は大人になる責任と家族への感謝で成長を実感する大切な節目である

問／振袖等のキャンセル料への支援はどうか。

答／市として支援は考えていない。

問／令和3年度の成人式開催は、必ず開催することを早期に示す必要があると思うがどうか。

答／令和3年4月開催に向け1月には判断する。

コロナ禍でのごみ収集運搬事業者への支援は

問／ごみ収集運搬事業者の中で感染者が発生し、事業を停止した場合、他の事業者による対応など支援体制を整える検討はされているか。

答／速やかに関係事業者が参集し、具体的な支援方法を協議して対応する体制を整えている。

コロナ禍での除雪事業者への支援は

問／除雪事業者で感染者が発生し、担当区間の除雪が困難になった場合の対応と支援体制はどうか。

答／隣接する区域からの支援体制など具体的な方法を示しながら事業者と協議を進めている。また、事業者には感染予防の徹底を求めている。



いじめ防止に「CAPプログラム」導入を！
 牧田 正樹（市民クラブ）



問／市立小中学校ではどのような人権教育が行われているか。

答／同和教育を中核とした人権教育の推進を基本とし、人権意識を高め、差別や偏見・いじめを許さない心情や態度を養うよう指導している。

問／市立小中学校のいじめの認知件数はどうか。

答／小学校は平成30年度に271件、令和元年度に276件、中学校は平成30年度に94件、令和元年度に103件となっている。

問／いじめ等から子どもの心と体を守るための「CAPプログラム」を導入する考えはないか。

答／校長会を通じて周知し、小学校7校で実施している。子どもの権利の学びや、困った時に助けを呼ぶ等の役割劇を通して、いじめをはじめとする暴力行為から身を守る能力形成に一定の成果をあげている。手法の一つとして推奨していく。

下箱井地内の水辺プラザ整備事業の今後は？

問／水辺プラザ整備事業の経緯と今後の活用は。

答／約2・8haが多目的広場として整備済みである。残る約19haは国交省が整備中の上越三和道路の建設用土砂の仮置き場として利用しており、令和11年度まで使用したいとの申出があり、引き続き協力していく。当面の間は多様な用途に対応し、多目的な利用を継続していく。